SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：九州オルガン針 株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・ 経営理念、CSR方針を明文化し、社員手帳、方針目標カードを従業員に配布し、共有している。 ・ オフィス内のポスター、掲示板等を利用して共有している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・ 行動指針においてコンプライアンス方針を規定し、各種規定により法令や社会モラルが守られていない場合の報告を周知している。 ・ CSR方針の読み合わせを行い、就業規則社員手帳の共有を通じて法令遵守を社内に啓発している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・行動指針において調達方針・営業方針を定め、公平公正な調達、取引先との適正な関係構築により不正競争を行わない事を謳っている。 ・企業方針CSRの中に、調達方針の内容に応じて不正競争行為の禁止や良きパートナーシップ等、毎日の読み合わせを通じて、意識付けを行っている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・各部門・各職位を設定任命し、各職務分掌を規定に定め、内部牽制をとりつつ企業理念である社会の要請に対応する組織を整備している。 ・ 環境法令の届出が必要なものは官公庁に届けを出しており、公害防止管理者等を定めている。 ・ 資格取得のための研修を行っている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・発明取り扱い規定を策定しており、発明を推奨するとともに発明者の権利を補償し、併せて知的財産権の適切な管理及び実施の合理的運用を図っている。 ・ グループ会社に相談しながら意匠権・商標権登録実施している。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・機密情報管理規定をコンプライアンス方針に沿って策定・運用している ・ 会社のパソコンは権限レベル管理をしている。 ・ 特定個人情報取扱規定に基づき、ルールを定め、全社員に教育実施している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・ISOにより顧客からの定期的な評価を実施し継続的な改善につなげている。 ・株主総会、定期役員会での報告により社会的影響を把握し改善している ・外注先と定期的な面談を行い、情報共有を行っている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・RoHS適応対象外となっている資材・材料の調達を義務付け、環境配慮を行っている。 ・製品（薬品等）の購入に関してはMSDS（製品安全データシート）の情報を基に製品に含まれている指定化学物質等を確認し、環境配慮に努めている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・ 災害や事故への備え（事業継続計画BCP）を行い、内容の改善に取り組んでいる。 ・ 緊急連絡網を設定し、非常用電源を備え、水や食料の備蓄を行っている。 ・ 非常時に安否確認のメールを社員に向け一斉送信する仕組みを設けている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・人材マップにより継続的に必要な人材を配置できるような管理を計画している。 ・後継者への一般教育を行っている。 ・事業継続力強化計画を策定し、熊本県からの認定を受けている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：九州オルガン針 株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ ハラスメント規定があり、相談窓口も設けている。労働組合とも連携し、対応できる体制を整えている。 ・ 社員限定webを開設し、目安箱を利用して困り事を伝えることができる体制を整えている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・ 安全衛生委員会を設置し、一年間の計画書に基づき活動を行っている。 ・産業医巡視の実施、地元労働基準協会部会活動参加による情報収集をしている。 ・ 年に1回ヒヤリハット活動、年に2回リスクアセスメント活動を行い、KYT活動を重要項目として積極的に取り組んでいる。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・　賃金規定により公平な賃金原則を持ち対応している。 ・ 正規雇用と非正規雇用それぞれに基本給のベースアップを実施し、ボーナスの支給もしている。 ・ 正規雇用転換制度を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・労働組合を有し、定期的なアンケート、懇談によりワークライフバランスも改善を行っている。 ・ テレワーク、交代勤務、30分単位の残業、時間単位の有給休暇、バースデー有給休暇を制度化している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・ 人材育成のために、社内と社外研修を年間教育計画を策定し実施している。 ・ スキルアップの為の研修補助に力をいれている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・メンタルヘルスに取組定期的な診断、問診等もプライバシーに配慮し専任者が担当している。 ・ 健康診断の全額負担、人間ドックの一部補助を行っている。 ・ 健康診断で二次健診対象者へ受診の啓発を行っている。 ・ 社内親睦団体によりスポーツや旅行などを企画・実施している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・ 外国人、障がい者の採用を積極的に行っている。 ・ 女性職制者20%、法定障碍者雇用3名（ジョブコーチ支援実施）、外国人留学生雇用3名（手当設定）が活躍している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・ WEB会議を導入し活用している。 ・テレワークの実施をしている。 ・ ワクチン接種の推進、オフィスの換気消毒、連休明けに全社一斉に抗原検査を行っている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・熊本県IOT補助金を活用し、目視での検査からAI技術を活用した外観検査を行う取り組みを進めている。 ・IOTとAI技術を針の曲がり直し工程に実用化している。 ・デジタル導入補助金を活用し、設計管理のデジタル化に取組み、図面作成や管理の効率化を進めている。 ・ひのくにIOT（財団）受講。PC作業を自動化するソフトウェアを導入し、産業技術センターよりデジタル支援を受け、業務の自動化を進めている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・2015年にブライト企業の認定を受け、直近では2021年に更新している。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：九州オルガン針 株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・定期的な作業環境測定を行っている。 ・有害化学物質及び薬品については、使用工程を明確にし薬品倉庫への保管を徹底している。また、自社処理が困難な産業廃棄物に関しては、業者への成分分析をお願いし、適切な処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・熊本県の新・省エネルギー設備機器等導入補助制度を利用し、エアコン及び工場内照明（LED等）の更新を計画立て進め、エネルギー資源削減等のエコ活動を進めている。 ・デマンド計での測定により使用量を把握しており、一定量を超えたら消電（電気、エアコン）を促す仕組みがある。 ・【予定】2022年10月より ・簡易計算シートを用いてエネルギー使用料を把握し、排出抑制に取り組む。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・電気使用量の見える化に取り組み、エネルギーの最適化を実現し効率的な省エネルギー及び節電の取り組みを行っている。 ・補助金等を利用してエアコンの更新時に高効率の製品を導入することにより排ガスの低減に取り組んでいる。 ・【予定】2022年10月より ・簡易計算シートを用いて温室効果ガス排出量を把握し、排出抑制に取り組む。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・昼食時のMY箸・茶碗利用で森林保護、エコに配慮している。 ・買い物にはエコバックを利用し脱プラを意識している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化に繋げる裏紙の有効活用や、廃棄ウエスの再活用を行っている。 ・工場設備も可能な限り再利用し設備を開発・修理している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・自社から排出される汚水は排水処理施設にてフッ素・クロム濃度を基準値まで抑え、河川へ放水することで環境汚染の予防に努めている。 ・熊本県の排水基準に適合して工場用水を排水している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・ｺﾋﾟｰ用紙等の紙製品やﾄｲﾚｯﾄﾍﾟｰﾊﾟｰはグリーン商品を購入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・会社が注文する昼食のごはんを、弁当箱から保温ジャーに変更し、個人が適量をとることで、食べ残しを減らしている。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・花いっぱい活動と名目を掲げ、工場内花壇や玄関周りを1年通し、植栽している。 ・庭園や工場周りの定期的な除草作業や水草取りを行っている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・年数が経過したエアコン、変圧器を高効率機器に更新している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・2021年4月から「AIG MIDORI PROJECT」に参加し、植樹活動への寄付を行っている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・ 会社の備品を買いに行く際に、エコバックを持参している。 ・ 社員食堂を利用している従業員はマイ箸を使っている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・出張においては公共交通機関を利用している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・web会議ｼｽﾃﾑ活用により、企業訪問や出張の低減を行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：九州オルガン針 株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ ISO9001を取得し、安全かつ高品質な製品を提供している。 ・ 品質の管理者、安全衛生の担当者を定めている。			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・ 玄関にスロープを設置しユニバーサルデザインを導入している。 ・ 施設や学校と連携し、障がい者の方が長く勤められるよう取り組んでいる。 ・ 高齢者の方でも働きやすいような雇用条件を制定している。									9.1	10	11.7						17
製品・サービス	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
製品・サービス	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
製品・サービス	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・ 熊本大学と連携し、癌に関する医療用の注射針を開発した。それを用いて実験用のマウスへの負担が減少し、社会問題の解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・農業DXのセミナー等へ参加し、自社技術が活用できないか、検討している。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・ 地域の夏祭りや演奏会への寄付を行っている。 ・ 会社周りの環境整備（隣接河川の草刈りボランティア年3回）や、学生・団体に対し工場見学を行うなどの活動を実施している。 ・ 熊本地震の際は物資の提供、片付けボランティアを行った。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ 災害時の対応が決められている。 ・ 避難や火災などに対しての避難シミュレーションを行っている。 ・ BCPを制定し、内容の改善を行っている。				4							11.5		13.1			16	
持続可能な社会・地方創生	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・ 社員の消防団活動を妨げないよう、公休扱いするなどの取り組みをしている。 ・救命救急講習受講、認定者の確保。社内にAED設置している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
持続可能な社会・地方創生	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
持続可能な社会・地方創生	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・ 外部研修等に参加している。 ・SDGSポスターを掲示している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・ 中学生、高校生、大学生のインターンシップを積極的に受け入れている。				4				8.6		10.2							17
持続可能な社会・地方創生	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・ 地元の高校生の採用を積極的に行っている。 ・ ユースエール企業の認定を取得している。 ・地元大学への県内就労斡旋講義を行った。				4.4				8.5 8.6									17
持続可能な社会・地方創生	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・社員兼業農家の認定を行っている。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。